

令和7年1月9日

保護者様

北九州市立皿倉小学校
校長 池田 洋士

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

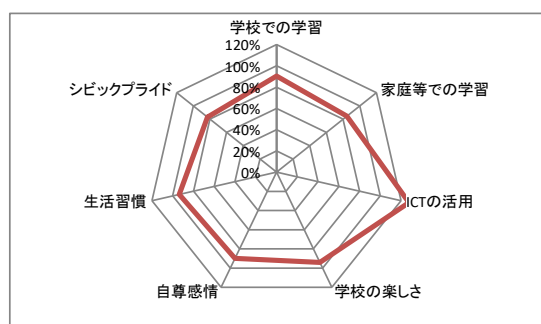
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	正答率について、観点別にみると「知識・技能」（全国比－5.6ポイント）、形式別にみると「記述式」（全国比－2.1ポイント）が全国との差が小さい。
算数	正答率について、観点別にみると「知識・技能」（全国比－3.8ポイント）、形式別にみると「選択式」（全国比－4.5ポイント）が全国との差が小さい。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・ICTの活用に関する各項目の肯定的回答は、全国を大きく上回った。（全国比＋27.6%）
・「友達関係に満足していますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目の肯定的回答は、約9割と高水準であった。
・学校での学習（全国比－9.6%）や家庭での学習（全国比－15.5%）に関する各項目肯定的回答は、全国を下回っていた。
・上記のほか、課題となるものについては、授業改善を進めたり保護者への啓発を図ったりする必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・学習時間において、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養を確実にに行い、全体的な底上げを図る。
- ・探究的な学習を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、学習意欲を向上させる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・基本的な生活習慣や家庭学習習慣について、児童や保護者に機会を捉えて啓発する。
- ・自尊感情やシビックプライドを醸成することができるよう、児童一人一人に日常的に適切な声掛けをする。